

CHALLENGE の夏！

希望進路実現のための夏！自分を高める夏！

進路実現のために0.1でも評定平均値を上げようともがく1学期がとうとう終わりました。次は、自分の将来を決める大事な夏です。自分で考え、自分で行動する時期です。泣いても笑っても、この夏をどう過ごすかで、自分の人生が決まってしまうと言っても言い過ぎではないでしょう。人は誰でも、人生に1度は「今でしょ！」という時があります。今がその「今」です。残念ながら「大学進学したい」と口では言っても、ケータイを手放せず、寸暇を惜しんでゲームをしている人も少なからずいます。一方、球技大会の合間、観劇の直前など、文字通り「寸暇を惜しんで勉強している」人も少なからずいます。さあ、あなたはどちらですか？一時の感情に流されて、一生の後悔をしなくてもいい夏にしてください。

先日『自己推薦書』の書き方講座を開催しました。ポイントは、「高校生活をどう送ったのか」です。「部活動ががんばりました」「体育祭で〇〇委員をしました」「文化祭で△△をして一番印象に残っています」等々、ひよっとすると他の誰かでも言えるような内容は評価の対象にはならないそうです。自分だけにしか言えない（書けない）内容が聞きたい、ということです。「□□を経験した」感想ではなく、その結果「何を考え」「どんな問題にぶつかり」「どう解決しようとしたのか」。そして、「何を調べて」「何がわかって」「その結果を今後の人生にどう生かそうとしているのか」を知りたいのです。

就職でも、公募推薦でも、指定校推薦でも、学力勝負でない限り、文書あるいは口頭で、必ず自分について語る（書く）場面があります。そのときに、自分にしか言えないことがあるのか、自分はいったいどんな人間なのか、じっくり考えましょう。人間は一人では生きていない。だからこそ、社会、いや、周りの人に、何らかの形で貢献できる人でありたい。自分には何ができるのか。就職して、あるいは、進学して、どんな人間になって、社会に還元していくのか……。まず自分をしっかり見つめましょう。例えば、自分の周りの人に聞いてみたらどうでしょう。「自分はどんな人間に見えていますか？」「何が上手だと思いますか。」「何がダメだと思いますか。」そういう質問から、自分自身が見えてくるかもしれません。そして、そこから、自分の未来をしっかり思い描いてみてください。自分が今すべきことが見えてくるはずです。

就職希望の人がこの夏にすべきこと=====



- ①自分はどんな仕事をどこでやりたいのかじっくり考える。
- ②求人一覧をじっくり見て、進路指導部でコピーをとる。
- ③自分で勝手に決めず、保護者や周りの大人とじっくり相談する。
- ④事業所の見学を3カ所程度はしておく。（第1希望の就職試験を受けられるとは限らないから）
見学は必ず保護者同伴で。夏休み当初の三者面談後すぐに進路指導部を通して申込みをすること。
- ⑤学科試験、適性検査、一般常識など対策をしっかりとっておく。新聞をしっかりと読んで社会情勢を知っておくこと。結局、採用において差がつくのは、学力です。
- ⑥面接の練習は何度もすること。その際、自分自身についてしっかりと言葉で説明できるように内面を深めておくこと。
- ⑦服装、頭髮、礼儀作法、言葉遣いなど、普段の生活を正しく送る。その場で取り繕うとしても、すぐにバレます。特に礼儀作法、言葉遣いはすぐに身につくものではありません。毎日の生活の中で練習しましょう。

就職申込書等、重要書類の提出が続きます。日程を再度確認し、遅れないようにすること。

進学希望の人がこの夏にすべきこと=====



- ①自分はどんな人間になりたいのか、将来どんな仕事に就きたいのか、少なくとも10年後の自分の姿を思い浮かべる。
- ②入試情報を集める。実力相応校、チャレンジ校、安全校、の3種×2＝6校程度は選ぶ。そして、入試科目、受験料、入試日、合格発表日、入学手続き締切日、など重要な情報をしっかり整理する。
- ③入試科目数を早くから絞ってしまうと、選べる大学数が限られてしまう。私立大学でも、「少なくとも3科目で3月まで受験するつもりで、AO入試から利用してもらえば、合格可能性がかなり高くなります。しかし、初めから2科目に絞っていると難しくなります。」とのこと。
自分の武器になる科目を徹底的に伸ばし、苦手分野を減らす、学習が必要である。そのために、②で調べた情報をもとに、必要な科目をしっかりと把握すること。万が一を考えて、多めに考えておくべきである。
- ④願書や過去問などは、自分で取り寄せる。もしオープンキャンパスに参加したことがない学校があるなら、必ずこの夏に参加すること。
- ⑤「何を」「いつ」「どのように」学習するのか、計画をしっかりと立てること。細かいものではなく、①7月中②8月上旬③8月中旬④8月下旬の4期に計画を分け、具体的に目標を立てること。
- ⑥過去の模試を復習教材として利用する。模試は良問の集まりである。大いに利用しよう。
例えば、7月中に過去に受験した模試を再度解き直し、8月上旬に弱点を補強し、8月中旬に同じ模試を再度解けば、学習の成果を確認し、自信をもつ根拠にもなるだろう。

<<当面の日程>>

月日 (曜日)	学校行事	就職	進学
7/23 (月)～7/31 (火)	進学講習 成績不振者指導		
7/23 (月)		公務員対策講座④13:30～	
7/23～ ～8月上旬	三者面談	見学先申込み 企業見学	
8/1 (水) 8/2 (木)			全統マーク模試
8/17 (金)		就職申込書提出 (9時締切)	
8/20 (月)			指定校一覧公示①
8/21 (火)		就職校内選考結果通知	
8/23 (木)		ロータリー面接練習	
8/24 (金)	演劇指導	就職書類提出 (10時締切) 公務員対策講座⑤13:20～	
8/25 (土)			全統記述模試
8/27 (月)	始業式 要弁当		
9/3 (月)			指定校申込み締切 (16時)
9/5 (水)～9/6 (木)	文化祭		
9/7 (金)	体育祭		
9/11 (火)			センター試験説明会 指定校一覧公示②
9/10 (月)～9/13 (木)		就職模擬面接	
9/13 (木)			指定校②・国公立推薦締切(17時)
9/14 (金)		就職激励会	
9/14 (金) 9/15 (土)			ベネッセ駿台マーク模試
9/16 (日)		就職試験解禁日	
9/19 (火)			指定校推薦保護者説明会

『一番の敵は自分自身じゃないかなあ』 said 羽生結弦氏